

# ドイツ文学

授業科目名	授業題目	単位数	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
ドイツ文学概論Ⅰ	ドイツ文学史	2	嶋崎 啓	3	月曜2限
ドイツ文学概論Ⅱ	ドイツ文学史	2	嶋崎 啓	4	月曜2限
ドイツ語学概論Ⅰ	中級ドイツ文法	2	嶋崎 啓	3	水曜3限
ドイツ語学概論Ⅱ	中級ドイツ文法	2	嶋崎 啓	4	水曜3限
ドイツ文学基礎講読Ⅰ	ドイツ語スキルアップ	2	NARROG HEIKO	3	火曜3限
ドイツ文学基礎講読Ⅱ	ドイツ語スキルアップ	2	NARROG HEIKO	4	火曜3限
ドイツ文学各論Ⅰ	カフカを読む	2	森本 浩一	5	金曜4限
ドイツ文学各論Ⅱ	批評演習	2	森本 浩一	6	金曜4限
ドイツ文学各論Ⅲ	ドイツ(語)文化圏としての 中欧の文化と歴史 (19)	2	佐藤 雪野	5	金曜2限
ドイツ文学各論Ⅳ	ドイツ(語)文化圏としての 中欧の文化と歴史 (20)	2	佐藤 雪野	6	金曜2限
ドイツ語学各論	グリム童話を読む	2	嶋崎 啓	5	月曜3限
ドイツ語学各論	モダリティ	2	NARROG HEIKO	5	木曜2限
ドイツ語学各論	グリム童話を読む	2	嶋崎 啓	6	月曜3限
ドイツ語学各論	ドイツ語を身につけるための 読書	2	菊池 克己	6	火曜4限
ドイツ語学各論	モダリティ	2	NARROG HEIKO	6	木曜2限
ドイツ文学演習Ⅰ	中世ドイツ文学	2	嶋崎 啓	5	月曜4限

# ドイツ文学

ドイツ文学演習Ⅱ	中世ドイツ文学	2	嶋崎 啓	6	月曜4限
ドイツ文学演習Ⅲ	ルーマニア・ドイツ語文学 におけるホコーストとナチ ズム	2	藤田 恭子	5	金曜3限
ドイツ文学演習Ⅳ	ドイツ語の散文作品を読 む	2	藤田 恭子	6	金曜3限
ドイツ語学演習Ⅰ	ドイツ語学演習	2	NARROG HEIKO	5	水曜2限
ドイツ語学演習Ⅱ	ドイツ語学演習	2	NARROG HEIKO	6	水曜2限

**科目名：ドイツ文学概論 I**

曜日・講時：月曜 2 限

semester：3 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB31202, 科目ナンバリング：LHM-LIT204J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：ドイツ文学史**

**2. 授業の目的と概要：**9 世紀から現代までのドイツ文学の歴史を概観する。ドイツ文学の主要な作品を紹介する。

**3. 学習の到達目標：**ドイツ文学の歴史の概要を知る。ドイツ文学の主要な作品の内容を知る。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 古高ドイツ語期の文学 (1)
- 3 古高ドイツ語期の文学 (2)
- 4 中世文学 (1)
- 5 中世文学 (2)
- 6 中世文学 (3)
- 7 中世文学 (4)
- 8 初期新高ドイツ語期の文学 (1)
- 9 初期新高ドイツ語期の文学 (2)
- 10 初期新高ドイツ語期の文学 (3)
- 11 バロック期の文学
- 12 啓蒙主義
- 13 ゲーテ時代 (1)
- 14 ゲーテ時代 (2)
- 15 ゲーテ時代 (3)

**5. 成績評価方法：**レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

**6. 教科書および参考書：**参考書：『増補ドイツ文学案内』手塚富雄・神品芳夫、岩波文庫、1993、9784003500033  
参考書：『はじめて学ぶドイツ文学史』柴田翔、ミネルヴァ書房、2003、9784623037124

**7. 授業時間外学習：**最も大事なことは自分で実際に作品を読むことです。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ文学概論Ⅱ**

曜日・講時：月曜 2 限

semester：4 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB41202, 科目ナンバリング：LHM-LIT205J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ文学史

2. 授業の目的と概要：9世紀から現代までのドイツ文学の歴史を概観する。ドイツ文学の主要な作品を紹介する。

3. 学習の到達目標：ドイツ文学の歴史の概要を知る。ドイツ文学の主要な作品の内容を知る。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 ロマン主義 (1)
- 3 ロマン主義 (2)
- 4 ロマン主義 (3)
- 5 三月前期 (1)
- 6 三月前期 (2)
- 7 19世紀後半の文学 (1)
- 8 19世紀後半の文学 (2)
- 9 19世紀後半の文学 (3)
- 10 20世紀前半の文学 (1)
- 11 20世紀前半の文学 (2)
- 12 20世紀前半の文学 (3)
- 13 戦後の文学 (1)
- 14 戦後の文学 (2)
- 15 児童文学

5. 成績評価方法：レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

6. 教科書および参考書：参考書：『増補ドイツ文学案内』手塚富雄・神品芳夫、岩波文庫、1993、9784003500033  
参考書：『はじめて学ぶドイツ文学史』柴田翔、ミネルヴァ書房、2003、9784623037124

7. 授業時間外学習：最も大事なことは自分で実際に作品を読むことです。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

**科目名：ドイツ語学概論 I**

曜日・講時：水曜 3 限

semester：3 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB33302, 科目ナンバリング：LHM-LIT206J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：中級ドイツ文法**

**2. 授業の目的と概要：**初級のドイツ文法では習わない事項を取り上げ、ドイツ語の文法をより深く理解することを目指す。

**3. 学習の到達目標：**ドイツ語文法の理解を深め、ドイツ語をより正しく読み、書くことができるようになる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 分詞 (1)
- 3 分詞 (2)
- 4 分詞 (3)
- 5 分詞 (4)
- 6 語順 (1)
- 7 語順 (2)
- 8 副詞 (1)
- 9 副詞 (2)
- 10 形容詞の格変化 (1)
- 11 形容詞の格変化 (2)
- 12 話法の助動詞 (1)
- 13 話法の助動詞 (2)
- 14 格の用法 (1)
- 15 格の用法 (2)

**5. 成績評価方法：**レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

**6. 教科書および参考書：**プリントを配布する。必ず辞書を持参すること。

参考書：関口存男『新ドイツ語文法教程』（三省堂）

**7. 授業時間外学習：**復習が重要である。講義の内容理解を確かめる課題のレポートを提出してもらう。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ語学概論Ⅱ**

曜日・講時：水曜 3 限

semester：4 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB43303, 科目ナンバリング：LHM-LIT207J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：中級ドイツ文法**

**2. 授業の目的と概要：**初級のドイツ文法では習わない事項を取り上げ、ドイツ語の文法をより深く理解することを目指す。

**3. 学習の到達目標：**ドイツ語文法の理解を深め、ドイツ語をより正しく読み、書くことができるようになる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 非人称の es (1)
- 3 非人称の es (2)
- 4 非人称の es (3)
- 5 接続詞 (1)
- 6 接続詞 (2)
- 7 分離動詞・非分離動詞 (1)
- 8 分離動詞・非分離動詞 (2)
- 9 分離動詞・非分離動詞 (3)
- 10 受動態 (1)
- 11 受動態 (2)
- 12 受動態 (3)
- 13 再帰動詞 (1)
- 14 再帰動詞 (2)
- 15 再帰動詞 (3)

**5. 成績評価方法：**レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

**6. 教科書および参考書：**プリントを配布する。必ず辞書を持参すること。

参考書：関口存男『新ドイツ語文法教程』（三省堂）

**7. 授業時間外学習：**復習が重要である。講義の内容理解を確かめる課題のレポートを提出してもらう。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ文学基礎講読 I**

**曜日・講時：**火曜 3 限

**semester：3 単位数：2**

**担当教員：**NARROG HEIKO

**コード：**LB32305, **科目ナンバリング：**LHM-LIT219J, **使用言語：**日本語、ドイツ語

**1. 授業題目：**ドイツ語スキルアップ

**2・授業の目的と概要：**全学教育で身についたドイツ語能力を安定させ、発展させる。  
ドイツ語圏文化と習慣に触れ、テーマに沿って語彙を増やせ文章の理解力や表現力を高める。

**3. 学習の到達目標：**A2~B1 レベル程度のドイツ語力を身につける。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. 授業説明

受講者のドイツ語能力確認

2. Im Restaurant I

3. Im Restaurant II

4. Im Restaurant III

5. Im Hotel I

6. Im Hotel II

7. Im Hotel III

8. In der Stadt I

9. In der Stadt II

10. In der Stadt III

11. Reise und Verkehr I

12. Reise und Verkehr II

13. Reise und Verkehr III

14. Wetter I

15. Wetter II, 授業到達目標確認

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力の時時点では未定で、学期初めに決まります。そのときClassroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

**5. 成績評価方法：**毎回の参加、課題、宿題。最終回試験。

**6. 教科書および参考書：**Szenen 2 heute aktuell ワークブック付き（生協文型店で入手可）

**7. 授業時間外学習：**毎回の課題

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

この授業の課題等は、Google Classroom 上で運営さえるが、教室では教科書を使用する。授業中のパソコン・タブレット等の使用はご遠慮ください

**科目名：ドイツ文学基礎講読Ⅱ**

曜日・講時：火曜3限

semester：4 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB42308, 科目ナンバリング：LHM-LIT220J, 使用言語：日本語、ドイツ語

**1. 授業題目：ドイツ語スキルアップ**

**2. 授業の目的と概要：**全学教育で身についたドイツ語能力を安定させ、発展させる。  
ドイツ語圏文化と習慣に触れ、テーマに沿って語彙を増やせ文章の理解力や表現力を高める。

**3. 学習の到達目標：**A2~B1 レベル程度のドイツ語力を身につける。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. 授業説明

受講者のドイツ語能力確認

2. Wetter II

3. Wetter III

4. Gesundheit und Körperpflege I

5. Gesundheit und Körperpflege II

6. Gesundheit und Körperpflege III

7. Geschenke und Einladungen I

8. Geschenke und Einladungen II

9. Geschenke und Einladungen III

10. Lebenslauf und Schulsystem I

11. Lebenslauf und Schulsystem II

12. Lebenslauf und Schulsystem III

13. Müll und Umwelt I

14. Müll und Umwelt II

15. 授業到達目標確認

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードはシラバス入力の時時点では未定で、学期初めに決まります。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

**5. 成績評価方法：**毎回の参加、課題、宿題。最終回試験。

**6. 教科書および参考書：**佐藤修子他著. Szenen 2 heute aktuell ワークブック付き. 三修社

**7. 授業時間外学習：**毎回の宿題

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

この授業の課題等は、Google Classroom 上で運営さえるが、教室では教科書を使用する。授業中のパソコン・タブレット等の使用をご遠慮ください

**科目名：ドイツ文学各論 I**

曜日・講時：金曜 4 限

semester：5 単位数：2

担当教員：森本 浩一

コード：LB55402, 科目ナンバリング：LHM-LIT306J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：カフカを読む

2. 授業の目的と概要：フランツ・カフカ (Franz Kafka: 1883-1924) の小説をテキストとして、ドイツ文学作品を原文で読解・解釈する訓練を行う。文学研究や他の関連する話題について講義する機会ももうけたいと考えている。

3. 学習の到達目標：ドイツ文学作品の読解力が向上すること。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- (1) 導入
- (2) カフカの生涯と作品
- (3-14) テキスト講読 1-12
- (15) まとめ

5. 成績評価方法：おおむね、予習と授業への参加 (80%) とレポート (20%)

6. 教科書および参考書：テキストは教師が準備します。

7. 授業時間外学習：毎回、事前に訳読の準備をして授業に臨んで下さい。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

- ・授業は原則として対面で実施する。リモートに切り替える場合は、Google Classroom で告知する。
- ・オフィス・アワーは特にもうけないが、随時個人的な質問・相談を受けつける。教員の連絡先アドレス宛にメールして事前にアボを取る。教員研究室は、川内北地区・国際交流棟の2階。

**科目名：ドイツ文学各論Ⅱ**

曜日・講時：金曜 4 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：森本 浩一

コード：LB65407, 科目ナンバリング：LHM-LIT307J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：批評演習**

**2・授業の目的と概要：**文学研究とは何をする事なのかという問いは、実は難しい。文献学や歴史研究のような相対的に客観的な知識を探究する研究スタイルもある。しかし小説のような「フィクションの物語」は元来ただの客観的事物（テキスト）ではなく、読者の主観的・想像的享受においてその存在が意味を持つようなものである。それゆえ、フィクションについて「書く」ためには、それを「読む」個人的経験それ自体を掘り下げつつ、この「経験」を表現にもたらず試行錯誤が重要となる。この実践を「批評」と呼びたい。批評はまた、作品という他者に臨む（自己）を思考し表現する知的な営みでもある。この授業では、課題作文とディスカッションをまじえながら、批評をめぐる問題を展望しつつ、実際に「書く」スキルの向上をめざす。それが、論文執筆へ向けての準備となることを期待しつつ。

**3. 学習の到達目標：**批評的な思考と「書くこと」の技能が向上する。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- (1) 導入
- (2) 物語メディアとの向き合い方
- (3) 小説について
- (4-14) 批評演習 1-11
- (15) まとめ

**5. 成績評価方法：**おおむね、批評文の提出と討議への参加（80%）および最終レポート（20%）

**6. 教科書および参考書：**必要に応じて授業中に指示する。

**7. 授業時間外学習：**批評文等の指定された提出物は事前に準備し、必ず指示された時間までに Classroom 経由で提出すること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

- ・授業は原則として対面で実施する。リモートに切り替える場合は、Google Classroom で告知する。
- ・オフィス・アワーは特にもうけないが、随時個人的な質問・相談を受けつける。教員の連絡先アドレス宛にメールして事前にアボを取る。教員研究室は、川内北地区・国際交流棟の2階。

**科目名：ドイツ文学各論Ⅲ**

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：5 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LB55204, 科目ナンバリング：LHM-LIT308J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (19)**

**2・授業の目的と概要：**広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほかに、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

- 3. 学習の到達目標：**1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。  
2. ドイツ語の読解力を向上させる。  
3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. プラハの歴史
3. ボヘミアとドイツ人
4. プラハとユダヤ人
5. プラハのドイツ文学
6. レンカ・ライネロヴァーとプラハ
7. ライネロヴァーの作品講読 1
8. ライネロヴァーの作品講読 2
9. ライネロヴァーの作品講読 3
10. ライネロヴァーの作品講読 4
11. ライネロヴァーの作品講読 5
12. ライネロヴァーの作品講読 6
13. ライネロヴァーの作品講読 7
14. ライネロヴァーの作品講読 8
15. まとめ

**5. 成績評価方法：**平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%  
期末課題：30%

**6. 教科書および参考書：**テキストはプリント配布  
その他の参考書は授業中に指示する。

**7. 授業時間外学習：**予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。  
復習時にも、調査が必要。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。  
テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。  
ドイツ語未修者で、受講希望の場合は、初回の授業時に申し出ること。

**科目名：ドイツ文学各論IV**

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LB65205, 科目ナンバリング：LHM-LIT309J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (20)**

**2・授業の目的と概要：**広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほかに、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

**3. 学習の到達目標：**1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. エゴン・エルヴィン・キッシュとプラハ
3. ホロコーストとプラハ
4. キッシュ作品講読 1
5. キッシュ作品講読 2
6. キッシュ作品講読 3
7. キッシュ作品講読 4
8. キッシュ作品講読 5
9. キッシュ作品講読 6
10. キッシュ作品講読 7
11. キッシュ作品講読 8
12. キッシュ作品講読 9
13. キッシュ作品講読 10
14. キッシュ作品講読 11
15. まとめ

**5. 成績評価方法：**平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

**6. 教科書および参考書：**テキストはプリント配布。

その他の参考書は授業中に指示する。

**7. 授業時間外学習：**予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

**科目名：ドイツ語学各論**

**曜日・講時：**月曜 3 限

**Semester：5 単位数：2**

**担当教員：**嶋崎 啓

**コード：**LB51303, **科目ナンバリング：**LHM-LIT311J, **使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**グリム童話を読む

**2・授業の目的と概要：**グリム童話を原文で読むことによって、ドイツ語の基礎的な表現を学び、そこに表される日本の昔話とは異なるメンタリティーを知ることが目的とする。グリム童話は 19 世紀のやや古いドイツ語で書かれているが、ドイツ語の基礎的な表現の宝庫であり、現代においてもドイツ語の特徴を知る格好の材料である。また日本の物語とは違う物語の展開や登場人物達の行動様式を考察することは異文化理解に大いに役立つ。

**3. 学習の到達目標：**グリム童話で用いられるドイツ語の表現を理解する。また物語の内容から文化的相違を考える。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 「狼と七匹の子山羊」講読 1
- 3 「狼と七匹の子山羊」講読 2
- 4 「狼と七匹の子山羊」講読 3
- 5 「ヘンゼルとグレーテル」講読 1
- 6 「ヘンゼルとグレーテル」講読 2
- 7 「ヘンゼルとグレーテル」講読 3
- 8 「ヘンゼルとグレーテル」講読 4
- 9 「ジャクシンの木」講読 1
- 10 「ジャクシンの木」講読 2
- 11 「ジャクシンの木」講読 3
- 12 「ジャクシンの木」講読 4
- 13 「ジャクシンの木」講読 5
- 14 「ジャクシンの木」講読 6
- 15 「ジャクシンの木」講読 7

**5. 成績評価方法：**平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

**6. 教科書および参考書：**プリントを配布する。

**7. 授業時間外学習：**前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ語学各論**

曜日・講時：木曜 2 限

semester：5 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB54203, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：モダリティ**

**2. 授業の目的と概要：**言語範疇としてのモダリティの基礎を学ぶ

**3. 学習の到達目標：**言語範疇としてのモダリティの基礎を理解する

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1～第3週 モダリティの定義

第4～第7週 モダリティ形式

第8～第11週 非認識的モダリティ

第12～第15週 認識的モダリティ

**5. 成績評価方法：**授業参加と毎回の課題・宿題に基いて評価する

**6. 教科書および参考書：**授業時に指示。詩の暗記が求められる

**7. 授業時間外学習：**毎回の課題

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

この授業に参加するには、言語学専修または日本語学専修または英語学専修の2年次の基礎的クラス（概論・講読等）を一通り受け、言語学（または日本語学、英語学）について基礎的な知識を持つことが前提となります。  
ドイツ語能力は必要ではありません。

**科目名：ドイツ語学各論**

**曜日・講時：**月曜 3 限

**セメスター：**6 **単位数：**2

**担当教員：**嶋崎 啓

**コード：**LB61305, **科目ナンバリング：**LHM-LIT311J, **使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**グリム童話を読む

**2・授業の目的と概要：**グリム童話を原文で読むことによって、ドイツ語の基礎的な表現を学び、そこに表される日本の昔話とは異なるメンタリティーを知ることが目的とする。グリム童話は 19 世紀のやや古いドイツ語で書かれているが、ドイツ語の基礎的な表現の宝庫であり、現代においてもドイツ語の特徴を知る格好の材料である。また日本の物語とは違う物語の展開や登場人物達の行動様式を考察することは異文化理解に大いに役立つ。

**3. 学習の到達目標：**グリム童話で用いられるドイツ語の表現を理解する。また物語の内容から文化的相違を考える。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 「コルベス氏」講読 1
- 3 「代父になった死神」講読 1
- 4 「代父になった死神」講読 2
- 5 「幸せのハンス」講読 1
- 6 「幸せのハンス」講読 2
- 7 「蛙の王様と鉄のハインリヒ」講読 1
- 8 「蛙の王様と鉄のハインリヒ」講読 2
- 9 「三本の金髪を持つ悪魔」講読 1
- 10 「三本の金髪を持つ悪魔」講読 2
- 11 「三本の金髪を持つ悪魔」講読 3
- 12 「怖がることを学ぶために出かけた男の話」講読 1
- 13 「怖がることを学ぶために出かけた男の話」講読 4
- 14 「怖がることを学ぶために出かけた男の話」講読 3
- 15 「怖がることを学ぶために出かけた男の話」講読 4

**5. 成績評価方法：**平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

**6. 教科書および参考書：**プリントを配布する。

**7. 授業時間外学習：**前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

**9. その他：**

**科目名：ドイツ語学各論**

曜日・講時：火曜 4 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：菊池 克己

コード：LB62405, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：ドイツ語を身につけるための読書**

**2・授業の目的と概要：**外国語を身につけるには接触頻度を上げ、インプット量を増やすことが必須だが、ドイツ語を読もうとすると気合と忍耐が必要だったり、億劫だったりする。それは大抵の場合ハードルを自分で高くしているからだ。間違っはいけない、わからない単語があっはいけない、など。その結果、自分からドイツ語に触れようという気持ちが萎縮する。

このハードルを下げるために「多読」に挑戦する。難しい文章を時間をかけて少量読む（気合と忍耐が必要）よりも、時間をかけずに読めるやさしめの文章に大量に接したほうが、外国語習得には効果的だからだ。

授業では、やさしい本を一冊全員で読む以外は、各自が、学習者向け読み物や絵本・児童書、マンガやネットの記事などから好きなものを選び、「多読」を実践する。それを通して、楽にドイツ語に触れ、楽しむための自分なりのスタイルを見つけることが、授業の目的となる。

**3. 学習の到達目標：**・ドイツ語に対する心理的なハードルを下げる

- ・ドイツ語を読む頻度と量を増やす
- ・ドイツ語を気楽に読める自分なりのスタイルを見つける

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

自分に合う本を自分で選び、自分のペースで読む。その感想などを簡単に記録する。また、自分が読んだ本を紹介し、情報交換する。

- 1 オリエンテーション：多読とは何か？
- 2 多読実践 1
- 3 多読実践 2
- 4 多読実践 3
- 5 多読実践 4
- 6 多読実践 5
- 7 多読実践 6
- 8 ここまでの感想、自分の多読を発展・深化させるために目標を立てる
- 9 多読実践 7
- 10 多読実践 8
- 11 多読実践 9
- 12 多読実践 10
- 13 多読実践 11
- 14 多読実践 12
- 15 読書経験を振り返って

**5. 成績評価方法：**平常点 [100%]

**6. 教科書および参考書：**教科書/読書用の書籍は教室で説明

**7. 授業時間外学習：**隙間時間を利用するなど、できるだけ多読に取り組む。訳さずに読む「読書」を習慣化する努力を。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ語学各論**

曜日・講時：木曜2限

semester：6 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB64206, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：モダリティ**

**2. 授業の目的と概要：**言語範疇としてのモダリティの基礎を学ぶ

**3. 学習の到達目標：**言語範疇としてのモダリティの基礎を理解する

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1～第3週 モダリティの意味

第4～第7週 モダリティ形式の歴史

第8～第11週 モダリティと他のカテゴリーの相互作用

第12～第15週 モダリティとムード・文のタイプ

**5. 成績評価方法：**授業参加と毎回の課題・宿題に基いて評価する

**6. 教科書および参考書：**授業時に指示。詩の暗記が求められる

**7. 授業時間外学習：**毎回の課題

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

この授業に参加するには、言語学専修または日本語学専修または英語学専修の2年次の基礎的クラス（概論・講読等）を一通り受け、言語学（または日本語学、英語学）について基礎的な知識を持つことが前提となります。ドイツ語能力は必要ではありません。

**科目名：ドイツ文学演習 I**

曜日・講時：月曜 4 限

セメスター：5 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB51407, 科目ナンバリング：LHM-LIT323J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：中世ドイツ文学**

**2・授業の目的と概要：**現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

**3. 学習の到達目標：**中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 中高ドイツ語入門 1 (発音)
- 3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)
- 4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)
- 5 中高ドイツ語文学講読 1
- 6 中高ドイツ語文学講読 2
- 7 中高ドイツ語文学講読 3
- 8 中高ドイツ語文学講読 4
- 9 中高ドイツ語文学講読 5
- 10 中高ドイツ語文学講読 6
- 11 中高ドイツ語文学講読 7
- 12 中高ドイツ語文学講読 8
- 13 中高ドイツ語文学講読 9
- 14 中高ドイツ語文学講読 10
- 15 中高ドイツ語文学講読 11

**5. 成績評価方法：**平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

**6. 教科書および参考書：**プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

**7. 授業時間外学習：**前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ文学演習Ⅱ**

曜日・講時：月曜 4 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB61404, 科目ナンバリング：LHM-LIT324J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：中世ドイツ文学**

**2・授業の目的と概要：**現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

**3. 学習の到達目標：**中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 ガイダンス
- 2 中高ドイツ語入門 1 (発音)
- 3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)
- 4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)
- 5 中高ドイツ語文学講読 1
- 6 中高ドイツ語文学講読 2
- 7 中高ドイツ語文学講読 3
- 8 中高ドイツ語文学講読 4
- 9 中高ドイツ語文学講読 5
- 10 中高ドイツ語文学講読 6
- 11 中高ドイツ語文学講読 7
- 12 中高ドイツ語文学講読 8
- 13 中高ドイツ語文学講読 9
- 14 中高ドイツ語文学講読 10
- 15 中高ドイツ語文学講読 11

**5. 成績評価方法：**平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

**6. 教科書および参考書：**プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

**7. 授業時間外学習：**前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：ドイツ文学演習Ⅲ**

**曜日・講時：**金曜 3 限

**セメスター：**5 **単位数：**2

**担当教員：**藤田 恭子

**コード：**LB55304, **科目ナンバリング：**LHM-LIT325J, **使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**ルーマニア・ドイツ語文学におけるホロコーストとナチズム

**2・授業の目的と概要：**ドイツ語のテキストを厳密に読む。背景知識としてルーマニアにおけるナチズム受容とホロコーストの歴史を知る。

**3. 学習の到達目標：**ドイツ語の文学テキストを、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

ユダヤ系詩人たちおよびドイツ系作家のテキストを取り上げる。彼らの自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

第1回 導入

第2回 ルーマニアにおけるドイツ語話者の歴史

第3回 ルーマニアにおけるナチズム

第4回 ホロコーストをテーマとする詩（1）

第5回 ホロコーストをテーマとする詩（2）

第6回 ホロコーストをテーマとする詩（3）

第7回 自伝的エッセイ（1）

第8回 自伝的エッセイ（2）

第9回 自伝的エッセイ（3）

第10回 ナチズム受容をテーマとする小説（1）

第11回 ナチズム受容をテーマとする小説（2）

第12回 ナチズム受容をテーマとする小説（3）

第13回 二次文献（1）

第14回 二次文献（2）

第15回 まとめ

**5. 成績評価方法：**平常点（出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加）

**6. 教科書および参考書：**プリントを配付する。

**7. 授業時間外学習：**事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

**科目名：ドイツ文学演習Ⅳ**

曜日・講時：金曜 3 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LB65304, 科目ナンバリング：LHM-LIT326J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語の散文作品を読む

2. 授業の目的と概要：散文テキストを読み、また著者の自伝的テキストや二次文献を読んで、多様な解釈の可能性を知る。

3. 学習の到達目標：ドイツ語による散文を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

2009 年度ノーベル文学賞を受賞したヘルタ・ミュラー (Herta Müller, 1953-) のテキストを取り上げる。彼女の自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

第 1 回 導入

第 2 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (1)

第 3 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (2)

第 4 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (3)

第 5 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (4)

第 6 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (5)

第 7 回 ヘルタ・ミュラーの小説 “ (6)

第 8 回 ヘルタ・ミュラーの小説 (7)

第 9 回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (1)

第 10 回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (2)

第 11 回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (3)

第 12 回 二次文献 (1)

第 13 回 二次文献 (2)

第 14 回 二次文献 (3)

第 15 回 まとめ

5. 成績評価方法：平常点（出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加）

6. 教科書および参考書：プリントを配付する。

7. 授業時間外学習： 事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practicalbusiness

9. その他：

このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。

教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

**科目名：ドイツ語学演習 I**

曜日・講時：水曜 2 限

semester：5 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB53204, 科目ナンバリング：LHM-LIT327J, 使用言語：日本語、ドイツ語

**1. 授業題目：ドイツ語学演習**

**2. 授業の目的と概要：**2年間養ったドイツ語能力をヨーロッパ基準の中級教材を用いて更に安定させて高める。読む・書く・聞く・話すの基礎的能力を体系的に向上させる。

**3. 学習の到達目標：**B1～B2 レベルのドイツ語を身につける

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. Gesundheit I - Beschwerden nennen
2. Gesundheit II - Witz erzählen
3. Gesundheit III - Bild beschreiben
4. Gesundheit IV - Text zusammenfassen
5. Gesundheit V - Gedicht
6. Gesundheit VI - Orthographie
7. Gesundheit VII - Lange und kurze Vokale
8. Gesundheit VIII - Passiv
9. Gesundheit IX - Relativsatz
10. Gesundheit X - Konjunktiv
11. Klima I - Wettererscheinungen benennen
12. Klima II - Geschichte zu Bildern erfinden
13. Klima III - Pro und Kontra Diskussion
14. Klima IV - literarischer Text
15. Klima V - Erlebnisbericht

**5. 成績評価方法：**授業参加、毎回の課題、宿題に基づいて評価する

**6. 教科書および参考書：**Stufen International 2 (教員が適度に提供する)

**7. 授業時間外学習：**毎回の課題・宿題

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

本授業の参加条件として、1) 1年分のドイツ文学専修『基礎講読』(本授業に先立つ2年次の授業)を受けたこと、または  
2) ドイツ語圏へ留学済み が求められています

**科目名：ドイツ語学演習Ⅱ**

曜日・講時：水曜2限

Semester：6 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB63207, 科目ナンバリング：LHM-LIT328J, 使用言語：日本語、ドイツ語

**1. 授業題目：ドイツ語学演習**

**2・授業の目的と概要：**2年間養ったドイツ語能力をヨーロッパ基準の中級教材を用いて更に安定させて高める。読む・書く・聞く・話すの基礎的能力を体系的に向上させる。

**3. 学習の到達目標：**B1～B2 レベルのドイツ語を身につける

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. Klima VI - Brief
2. Klima VII - Wortakzent und Satzakzent
3. Klima VIII - Präpositionen
4. Klima IX - Komparation
5. Klima X - Plusquamperfekt
6. Etikette I - Höflichkeitsregeln
7. Etikette II - Parabeln
8. Etikette III - Rollenspiel
9. Etikette IV - Ausdruck der Bewegungsrichtung
10. Etikette V - Hörverstehen Interview
11. Etikette VI - Gedicht
12. Etikette VII - Satzakzent und Rhythmus
13. Etikette VIII - Konjunktiv II
14. Etikette IX - Verben mit Präpositionen
15. Etikette X - Nominalisierungen

**5. 成績評価方法：**授業参加、毎回の課題、宿題に基づいて評価する

**6. 教科書および参考書：**Stufen International 2 (教員が適度に提供する)

**7. 授業時間外学習：**毎回の課題・宿題

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

- 1) 本授業の参加条件として、1) 1年分のドイツ文学専修『基礎講読』(本授業に先立つ2年次の授業)を受けたこと、または 2) ドイツ語圏へ留学済み が求められています
- 2) この授業の課題等は、Google Classroom 上で運営されるが、教室では教科書を使用する。授業中のパソコン・タブレット等の使用をご遠慮ください